

カネソウ株式会社

第43期 報告書

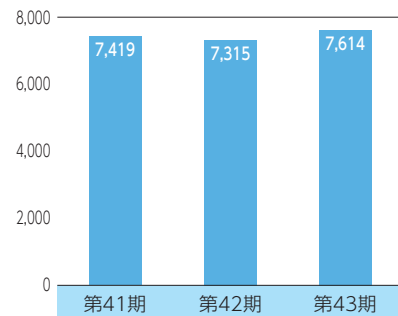
2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日

証券コード ● 5979

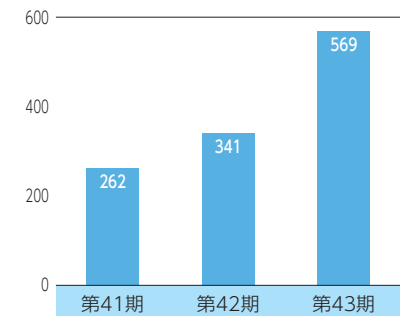


財務ハイライト

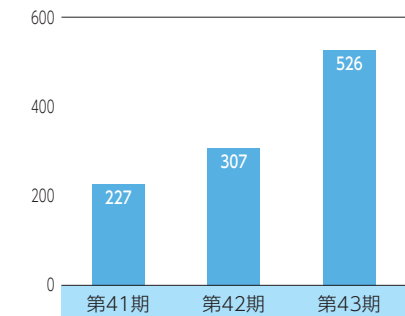
売上高 (百万円)



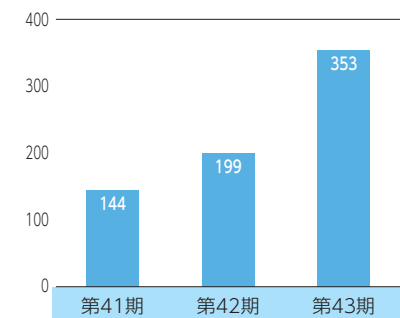
営業利益 (百万円)



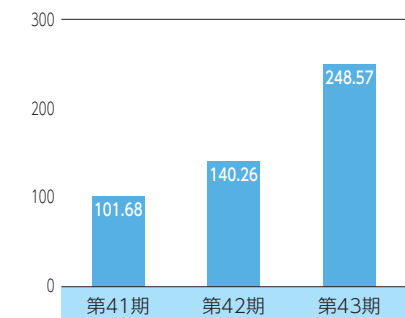
経常利益 (百万円)



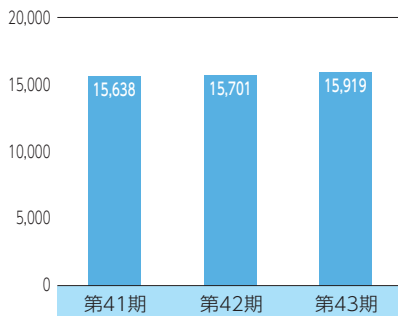
当期純利益 (百万円)



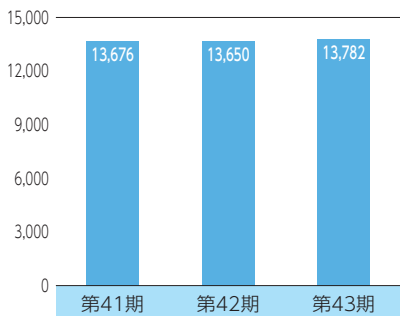
1株当たり当期純利益金額 (円)



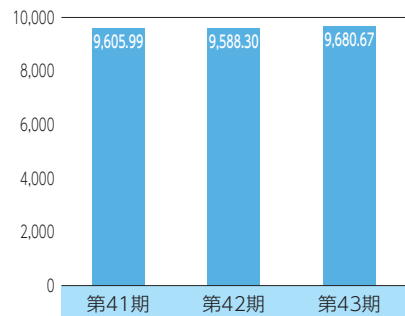
総資産 (百万円)



純資産 (百万円)



1株当たり純資産 (円)



(注) 2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。1株当たり当期純利益金額及び1株当たり純資産につきましては、第41期の期首に当該併合が行われたと仮定して表示しております。

株主の皆様へ



株主の皆様には、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第43期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の事業の概況等をご報告申し上げます。

2020年6月

代表取締役社長 近藤 健治

■事業の経過及び成果

当期における国内経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移してまいりました。しかしながら、消費増税や多発した自然災害の後、通商問題が長期化するなど海外情勢が不安定な中で、新型コロナウイルス感染症の拡大が世界経済全体に与える影響が大きくなる状況となり、先行きは不透明感の強い状況で推移致しました。当社の主要な市場である建設関連業界におきましては、設備投資が慎重になるものの、期中におきましては、都市部を中心とした再開発などによる建設需要は、底堅く推移致しました。一方で、材料価格や物流費用をはじめとするコスト環境は高い水準が続き、慢性的な労働者の不足感も解消されない状況から、取り巻く事業環境は厳しい状況が続きました。こうした状況のもと、市場における需要獲得や収益の改善に向けて、取り組みを進めてまいりました。その結果、売上高は76億14百万円(前年同期比4.1%増)となりました。製品分類別における状況は、次のとおりとなりました。

鋳鉄器材は、建築工事関連が低調なことから、雨水排水・防水関連製品は、やや低位な状況が続きましたが、外構・街路関連工事の改善から、外構・街路関連製品が増加し、19億47百万円(同2.0%増)となりました。

スチール機材は、設備、土木工事関連の納入が低位な状況が続きましたことから、外構・街路関連製品など

全般に減少し、12億44百万円(同4.5%減)となりました。

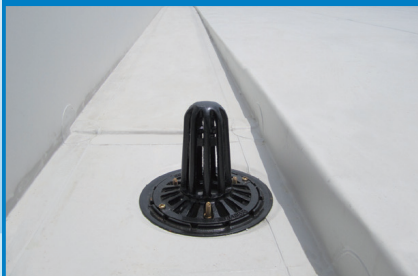
製作金物は、建築工事が低調な状況が続き、建築金物は減少しましたが、外構・街路等景観整備工事が堅調であったことから、外構・街路関連製品の増加基調が続きました。また、当期における工事の進捗により防災関連製品の納入が増加し、39億58百万円(同12.1%増)となりました。

その他は、公共投資が低調な状況が続き、土木需要が低下したこと、建機、機械向け製品の需要減少が続きましたことが影響し、4億63百万円(同18.9%減)となりました。

利益につきましては、材料価格など調整感はあるものの高値状態が続き、コスト環境は厳しい状況にありましたが、主要製品など、売上の増加にともない、生産における原価改善が進みました。その結果、売上総利益は、26億99百万円(同10.4%増)となりました。販売費及び一般管理費につきましては、運送に係る費用の上昇や、当期における施設の改善に伴う修繕費用の計上など、経費負担の増加はありますが、売上の増加にともない、営業利益は5億69百万円(同66.7%増)となりました。営業外損益につきましては、長期にわたる低金利の環境のもとで、収益の低い状況が続き、改善には至らないものとなりました。その結果、経常利益は5億26百万円(同71.1%増)となり、当期純利益は3億53百万円(同77.2%増)となりました。

快適な生活環境の創造に向けて

雨水排水・防水関連製品



ルーフドレン

建築金物



フロアーハッチ

外構・街路関連製品



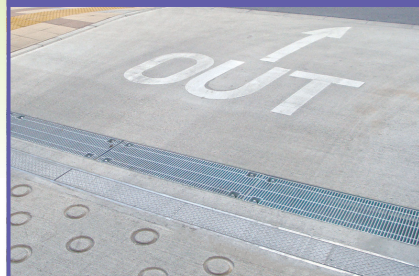
U字溝用スリットみぞ蓋

外構・街路関連製品



ステンレス製グレーチング

外構・街路関連製品



スチール製グレーチング

カネソウは歩みつづけます。

防災関連製品



EXジョイント免震構造建築用

建築金物



クリーンピット

外構・街路関連製品



車止め

外構・街路関連製品



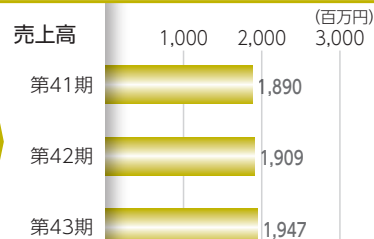
マンホール鉄蓋

製品分類別の状況

鋳鉄器材

売上高 **1,947** 百万円

前年同期比 **2.0** %増



- 主な製品
- ルーフドレン
 - マンホール鉄蓋
 - 車止め

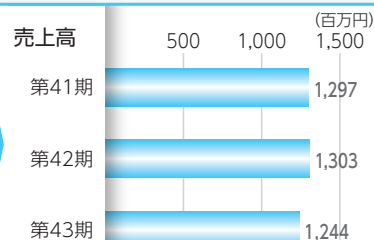


ルーフドレン

スチール機材

売上高 **1,244** 百万円

前年同期比 **4.5** %減



- 主な製品
- スチール製グレーチング
 - カラーグレーチング

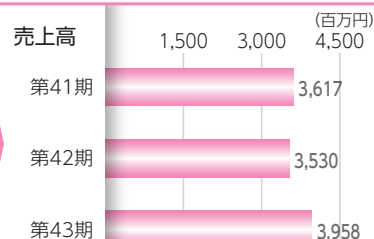


スチール製グレーチング

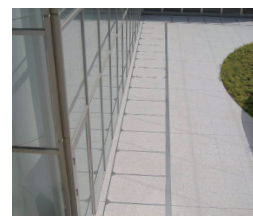
製作金物

売上高 **3,958** 百万円

前年同期比 **12.1** %増



- 主な製品
- ステンレス製グレーチング
 - クリーンピット
 - フロアーハッチ
 - EXジョイント免震構造建築用
 - U字溝用スリットみぞ蓋
 - カラー舗装用みぞ蓋
 - たてとい

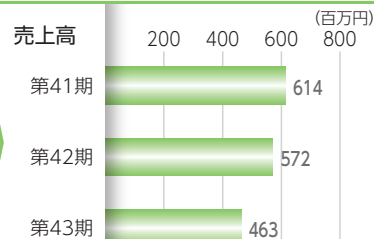


EXジョイント

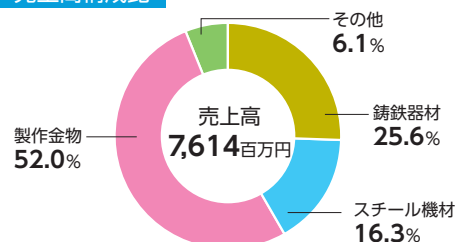
その他

売上高 **463** 百万円

前年同期比 **18.9** %減



売上高構成比



新製品及び設備のご紹介



ルーフドレン パラペットコーナー部たて引き用

屋上や通路の有効面積を広くするため、ルーフドレンがパラペットコーナー部に納まる、たて引き排水用のルーフドレンです。

防水層端部からの漏水を起こりにくくする、ルーフドレン本体の張掛け幅100mmの仕様です。



免震エキスパンションジョイント 物流施設用

車両が通過する本体パネルの取付部固定ピンの強度を高くし、大型車両の通過に耐える床部免震エキスパンションジョイントです。免震構造が採用されている、物流施設の車両乗り入れ部への設置に適します。



大口径フローアハッチ（マシンハッチ）

大型ビルや免震構造の建物で採用が増えている、開口部の大きい床下点検用の蓋です。建物外構部に設置が可能な、耐荷重強度が車両総重量14トンに耐えられる製品です。構造解析を行い、より軽量で強度を高くした構造を採用しました。



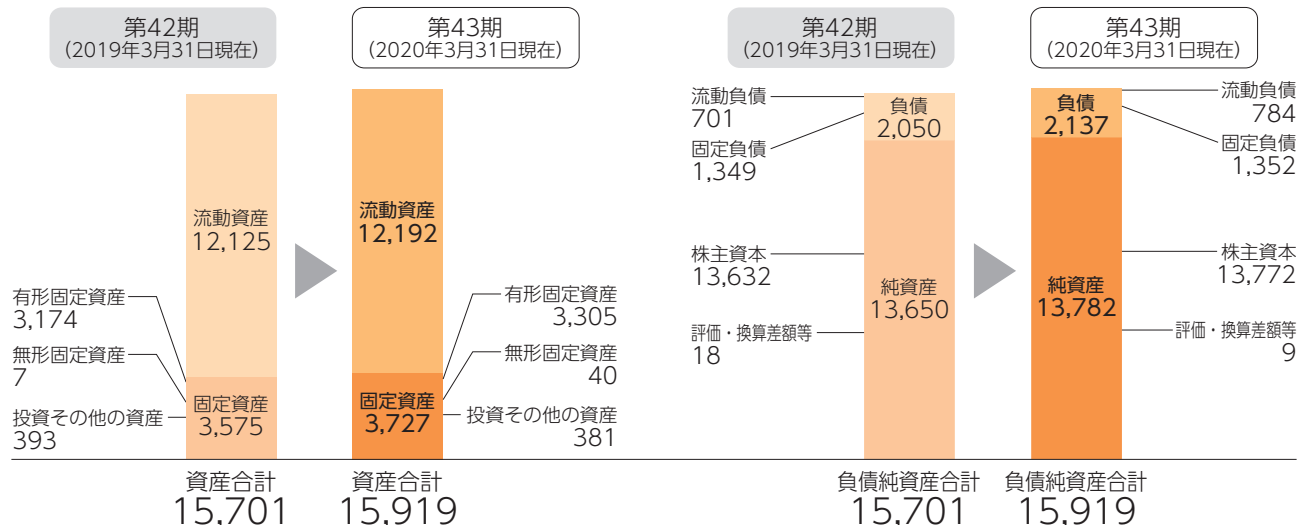
施錠式 化粧用鉄蓋

管理者以外が容易に開閉することができない、施錠式の鉄蓋です。鉄蓋にインターロッキングブロックが貼れ、景観向上に適します。

国土交通省の公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）の規格に該当します。

貸借対照表の概要

(百万円)



■財政状態について

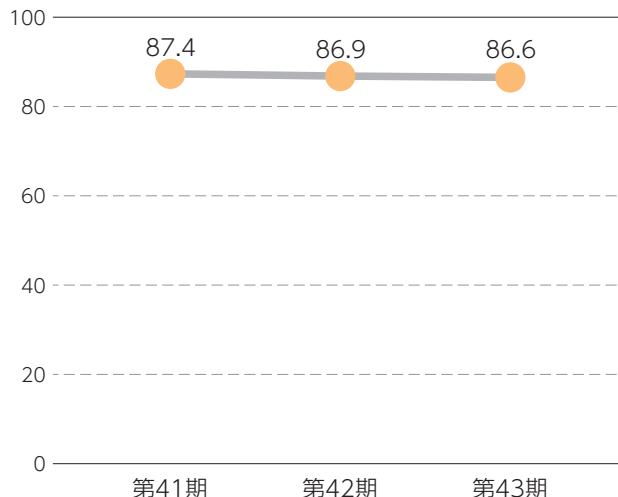
資産総額は159億19百万円となり、前事業年度末に比べ2億18百万円増加いたしました。これは主に、流動資産のうち、現金及び預金が77百万円減少しましたが、たな卸資産が87百万円、固定資産のうち、機械及び装置が1億72百万円、ソフトウェアが32百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債総額は21億37百万円となり、前事業年度末に比べ87百万円増加いたしました。これは主に、流動負債のうち、買掛金が53百万円、未払法人税等が57百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は137億82百万円となり、前事業年度末に比べ1億31百万円増加いたしました。これは主に、剰余金の配当が2億13百万円、その他有価証券評価差額金の減少が8百万円でしたが、当期純利益の計上が3億53百万円となったことによるものであります。

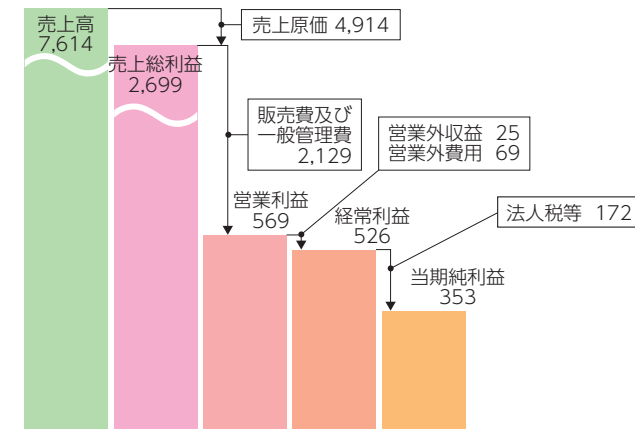
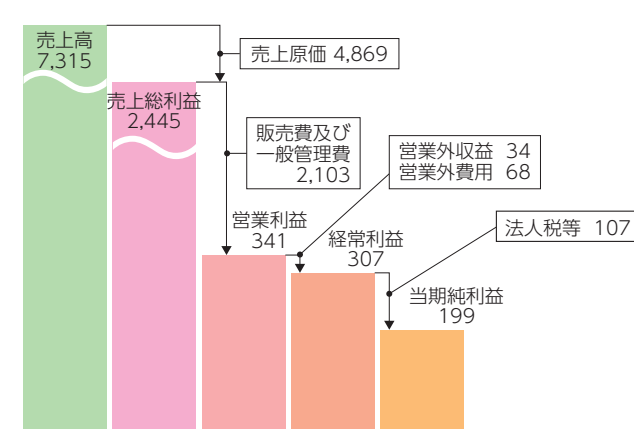
自己資本比率の推移

(%)



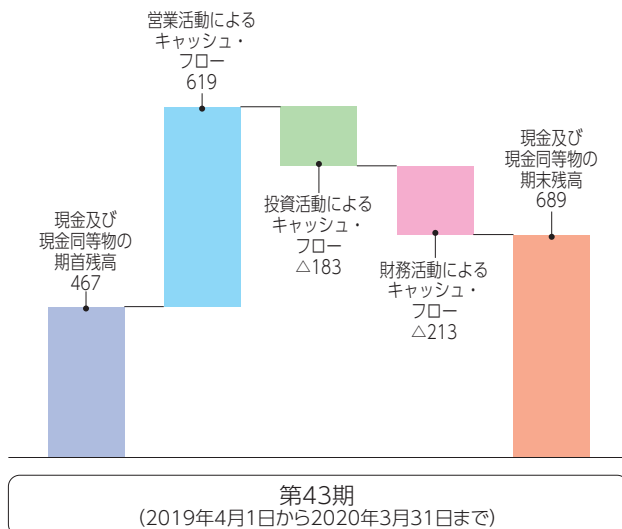
損益計算書の概要

(百万円)



キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



■営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、6億19百万円(前期比25百万円の収入増)となりました。これは主に、売上債権の増加が54百万円、たな卸資産の増加が87百万円、法人税等の支払額が1億19百万円ありましたが、税引前当期純利益の計上が5億26百万円、減価償却費の計上が3億20百万円、仕入債務の増加が53百万円あったこと等によるものであります。

■投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は、1億83百万円(前期比1億70百万円の支出減)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入が79億円ありましたが、定期預金の預入による支出が76億円、有形固定資産の取得による支出が4億46百万円あったこと等によるものであります。

■財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果支出した資金は、2億13百万円(前期比0百万円の支出減)となりました。これは、配当金の支払が2億13百万円あったことによるものであります。

当社の概要

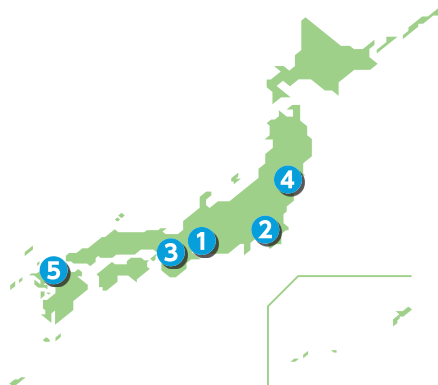
商 号	カネソウ株式会社 (KANESO Co.,LTD.)
本社所在地	三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
電 話 番 号	(059) 377-4747 (代表)
設 立	昭和54年10月23日
資 本 金	1,820,000,000円
事業の内容	建設用金属製品の製造・販売
従 業 員 数	232名

役 員 (2020年6月25日現在)

代表取締役名誉会長	小 林 昭 三
代 表 取 締 役 会 長	小 林 正 和
代 表 取 締 役 社 長	近 藤 健 治
専 務 取 締 役	南 川 智 之
常 務 取 締 役	福 田 昭 人
常 務 取 締 役	清 水 竜 生
常 務 取 締 役	豊 田 悟 志
取 締 役	石 川 文 和
取 締 役	伊 藤 博 幸
取 締 役	山 田 耕 二
取 締 役	松 田 洋 一
取 締 役	小 林 永 朋
取締役(監査等委員)	水 谷 篤 夫
取締役(監査等委員)	木 原 昌 弥
取締役(監査等委員)	山 田 康 之

(注) 取締役(監査等委員)木原昌弥及び山田康之の両氏は、社外取締役であります。

事業所



① 本 社 朝 日 工 場	〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
② 東 京 支 店	〒105-0004 東京都港区新橋六丁目9番5号 JBビルディング3F
③ 大阪営業所	〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1丁目3番10号 信濃橋富士ビル10F
④ 仙台営業所	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町一丁目1番8号 第3青葉ビル9F
⑤ 福岡営業所	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前四丁目8番15号 博多鳳城ビル6F

株 式 情 報

株式の状況

発行可能株式総数	4,000,000株
発行済株式総数(自己株式を除く)	1,423,710株
株主数	559名
単元株式数	100株

大株主

株主名	持株数	持株比率
	株	%
小林鑄造有限会社	375,000	26.33
小林正和	315,000	22.12
小林昭三	100,000	7.02
小林誠子	100,000	7.02
小林裕和	100,000	7.02
榊原静枝	45,000	3.16
神谷布左子	45,000	3.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	16,200	1.13
株式会社三菱UFJ銀行	15,600	1.09
株式会社百五銀行	15,600	1.09

(注) 上記のほか、当社保有の自己株式16,290株があります。

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	
定時株主総会・期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話:0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の 本店および全国各支店で行っております。

株式に関する手続き

お手続き	お問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
●株主名簿記載事項の変更 商号・氏名、住所、代理人選任、変更など	口座を開設した証券会社にお問い合わせください。	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話:0120-782-031 (フリーダイヤル)
●単元未満株式の買取請求 その他お手続きに関する事項		
●未払配当金	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話:0120-782-031 (フリーダイヤル)	

快適をかたちに
KANESO

当社ホームページのご案内
企業情報や製品情報を掲載しております。



<http://www.kaneso.co.jp>

カネソウ



環境に配慮し、植物油インキを使用しています。